

令和3年度 田原本町社会福祉協議会事業報告

1. 事業実施概要

令和3年度は、依然として収束の兆しが見えないコロナ禍において、感染拡大・防止対策の徹底を図りながら、地域福祉推進の中核的な役割を担う団体としての歩みを止めないよう、地域における新たなつながりの芽が生まれ、育まれるような取り組みを行いました。また昨年度に引き続き、生活福祉資金貸付制度による特例貸付事業での相談受付をはじめ、支援が必要な方と途切れることのないような援助活動に努めました。

各事業の遂行にあたっては、基本方針である“住民と共に歩む社協”として、住民をはじめとする多様な地域関係者と共に、「地域福祉活動計画」に基づき、住民主体と地域の実情に応じた活動が活発・着実に展開されるように実施しました。

事業の組み立て

- (1) 地域福祉活動の推進
- (2) 生活支援事業の推進
- (3) ふれあいセンターの管理運営
- (4) 事務局運営の充実強化
- (5) 専門職の派遣による福祉施策の充実

2. 各施策・事業の実施状況

【罫 新規事業、〔〕前年度実績、中止…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため】

(1) 地域福祉活動の推進

1)地域での支え合い・助け合い活動の推進

◇地域のつながり強化支援—重層的支援体制整備事業への移行準備事業（町委託事業）—
職員が積極的に地域に出向き、社会的孤立の解消への取り組みや、世代や分野を超えて皆で支え合える、住民主体の地域づくりを支援

罫「アウトリーチ等継続的支援事業」

- ・相談支援件数…649件 新規受付件数…18件 終結件数…2件
- ・重層的支援会議開催数…2件

「地域づくり事業」

- ・活動者・地域への支援…288件〔331件〕 ・職員参加会議体数…11件〔7件〕
- ・助け合い・支え合い活動の組織数…5件〔3件〕（生活支援5）
- ・「なら小地域福祉サミット2021」にて、町内活動者による実践報告…8/28
- ・平群町社会福祉協議会との小地域福祉活動者オンライン交流会の開催…3/9

◇生活支援サービスの充実と社会参加支援（町委託事業）

- ・個別支援…114件（個別生活支援に関する相談、訪問、調整等）
- ・地域活動支援…300件（住民主体活動の支援、アンケート調査等）

◇手作りマスク等の配布管理

- ・配布枚数：1,612枚（布…82枚、不織布…1,530枚）

- ・在庫数：9,357枚（布…1,497枚、不織布…7,860枚）
- ・配布先：民生児童委員協議会、おたのしみ市参加者、館内利用者等

◇災害時の支援協力体制の強化

☞ 榑原青年会議所との「災害時における協力体制に関する協定」の締結…6/14

2)福祉教育の充実

◇福祉教育推進連絡会（小・中学校の担当教員、社協で構成）…12/16

◇小・中学校等における福祉体験学習等の職員派遣及び関係団体との調整
（参加件数：4件〔4件〕）

- ・田原本中学校1年生 1/21 車椅子・アイマスク・高齢者疑似体験・要約筆記・認知症サポーター養成講座
（町内福祉施設職員、ボランティアの協力）
- ・平野小学校4年生 10/26 車椅子・アイマスク体験
- ・南小学校4年生 2/21 車椅子・アイマスク体験（教員のみによる実施）
- ・田原本小学校4年生 3/15 車椅子体験（教員のみによる実施）

◇町内各小・中学校、磯城野高等学校、高等養護学校への福祉教育及び学校ボランティア活動への助成

3)幼児の健全育成と子育て支援

◇幼児教室（町委託事業）

すいせんの会（民生児童委員、主任児童委員から組織）の協力により、就園前の幼児と、その保護者を対象に集団遊びや季節行事の開催

- ・開催数…8回（2回中止）、参加者数…19組〔3回、12組〕

◇ファミリー・サポート・センター事業（町委託事業）

子育ての援助をして欲しい人（依頼会員）と、援助したい人（援助会員）が会員として登録し、有償で行う住民相互の援助活動の調整

- ・依頼会員…26名〔9名〕 ・援助会員…33名〔19名〕
- ・調整件数…20件〔4件〕 ・活動日数…48日
- ・援助会員養成講座の開催…11/25、12/3、12/10
- ・援助会員交流会の開催…6/25、11/17、12/10 , 延参加者…50名

☞ 援助会員専用公式LINEの開設

4)高齢者の見守りと地域づくり

◇福祉給食・見守り事業

一人暮らし高齢者等へ、見守りを兼ねた昼食の調理・配食をボランティア（ふれあいの会、なでしこの会、男性の民生児童委員有志）の協力により実施

- ・実施回数…48回〔48回〕 ・対象者数…45名〔46名〕（内、新規…4名〔5名〕）

※1/20から3/24まで（11回）新型コロナウイルス感染症感染・拡大防止のため、民間事業者からの食事調達による配食を実施

◇友愛訪問活動の推進（町老人クラブ連合会との連携）

老人クラブ女性部による会員相互の見守り訪問活動の推進

- ・対象者数…127名〔134名〕
- ・一人暮らし老人慰安会…11/21 ・友愛活動員研修会…7/27

5) ボランティア活動支援

◇ ボランティアセンター運営

- ・ 相談、ニーズ調整及び情報提供並びに啓発活動などを実施（随時）

◇ ボランティア活動保険加入

- ・ 一般ボランティア活動…684名〔620名〕
- ・ 行事ボランティア活動…11件〔13件〕
- ・ 送迎ボランティア活動…1件〔1件〕
- ・ 福祉サービス総合補償…1件〔1件〕
- ・ 事故報告件数…0件〔1件〕

◇ 下記団体への活動助成 5団体〔7団体〕

- ・ OHP田原本
- ・ 田原本町手話サークルしきの会
- ・ ボランティアグループぶりっじ
- ・ たすけあいの会「コスモス」
- ・ たわらもと傾聴

◇ レクリエーション物品貸出事業（ふれあいセンターとの連携）

住民主体による集いの場等で使用できるゲームや体操用具等の貸出

- ・ 社協受付件数…4件（マイクセット、プロジェクター等）〔5件〕
- ・ ふれあいセンター受付件数…4件（わなげ、スカットボール等）〔1件〕

6) 福祉を身近に感じる機会づくり

◇ 住民参加型事業（田原本町共同募金委員会との連携事業）

- ・ 12/25「家族で楽しむクリスマスイベント」開催
- ・ ありがとうメッセージ動画の作成(DVD)

7) 福祉関係団体活動支援

◇ 田原本町共同募金委員会

地域福祉活動を積極的かつ計画的に展開するための財源を安定化し有効活用するために、下記会議を開催

- ・ 運営委員会…6/2、6/23、3/18
- ・ 審査委員会…2/25

◇ 下記団体の運営事務及び、研修会の企画・開催等を通じた地域福祉関係者間との連携を推進

- ・ 町民生児童委員協議会
- ・ 町老人クラブ連合会
- ・ 町ボランティア連絡協議会
- ・ 町身体障害者福祉協会
- ・ 町母子寡婦福祉会
- ・ 町遺族会
- ・ 「英霊にこたえる会」田原本町支部
- ・ 磯城郡遺族会

◇ 下記団体への活動助成

- ・ 町身体障害者福祉協会
- ・ 町母子寡婦福祉会
- ・ どんぐりの会
- ・ のぞみ会田原本町支部
- ・ 町ボランティア連絡協議会
- ・ 町遺族会

8) 磯城郡社会福祉協議会への参画

◇ 研修会「災害ボランティアセンターの理解を深める」参加…11/17、10名

◇ 郡域福祉団体・ボランティア団体への活動助成…7団体

(2) 生活支援事業の推進

1) 相談支援

◇心配ごと相談事業（原則第4木曜日開催）

- ・開催数…12回〔11回〕　・相談者数…10名（内、面談者6名）〔14名〕
- ・相談種別
内訳）住宅関係…1件、生計・職業・生業問題…3件、福祉関係…2件、
家族関係…7件、離婚問題…2件、財産問題…2件、
人権・法律問題…2件、事故関係…0件、苦情関係…2件
その他（消費者金融関係等）…0件　計21件（重複問題含む）〔37件〕
- ・相談員研修会…3/23、相談件数及び内容の報告等

◇生活福祉資金貸付事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

- ・貸付決定数…198件〔373件〕
- 内訳
・緊急小口資金等特例貸付…90件〔185件〕
- ・総合支援資金等特例貸付（初回、延長、再貸付）…104件〔184件〕
- ・教育支援資金…4件

◇緊急小口資金貸付事業（善意銀行への寄附金を原資として実施）

- ・新規件数…69件〔46件〕

◇日常生活自立支援事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

生活支援員の訪問等により福祉サービスの利用援助を実施

- ・総件数…6件〔5件〕
- ・支援員訪問回数…100回〔80回〕　・訪問時間数…104時間〔83.5時間〕

2) 食料・日用品等の支援

◇フードレスキュー事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

窮迫した生活困窮者等へ安心・安定した相談支援活動を展開していくことを目的とした緊急的食料支援の実施

- ・延利用者数…38件〔51件〕

■田原本町社会福祉協議会緊急食糧等支援事業実施要綱の策定による支援の充実

- ・延利用者数…7件　・食料品等の受入…4件　・食料品の購入…2回

◇お米の無料配布事業

大和磯城ライオンズクラブ協力のもと、ひとり親家庭等を対象に月5kgのお米の配布

- ・利用登録世帯…133世帯　・延利用世帯数…711世帯

◇おたのしみ市の開催

- ・開催日及び内容…11/27、社会福祉協議会にて、たすけあいバザー、紙芝居、ゲームコーナー、出張ふれあいセンターなどを実施
- ・協力者…おてらおやつクラブ、母子寡婦福祉会、主任児童委員ファミリーサポート援助会員、天理大学、町内企業等

◇その他の物品支援（町役場から提供品等の活用）

- ・生理用品…28世帯

- ・食料品…80世帯

3)障がい者・児への社会参加と生活支援

◇障がい児レクリエーション事業（町委託事業）

療育手帳、身体障害者手帳、精神保健福祉手帳を所持する児童等とその家庭を対象とした、交流会の実施

- ・参加者数…27名〔38名〕（内訳、対象者：10名〔16名〕、付添者：17名〔22名〕）
- ・開催日及び内容…7/27、弥生の里ホールにて、松本真理子さんによるマリンファミリーコンサートを開催

◇ほのぼのサロン（原則第2・第4水曜日開催）

主に精神障がい者等を対象に、交流の場づくりと社会参加への機会提供を目的としたサロンの開催（内容：スポーツ、レクリエーション、陶芸など）

- ・サロン…10回〔7回〕、延べ参加者数…69名〔56名〕
- ・カフェ…中止

◇障害者等相談支援事業（町委託事業）

・障害者特定相談支援事業

障がい者が安心して自立した日常生活を送れるよう、福祉サービス利用に関する情報提供や相談などを行い、また、障害福祉サービス等を申請した方への計画作成や見直し

相談・情報提供…2,398件（来所、訪問、会議等）〔2,230件〕

計画作成・見直し…93件〔81件〕

・障害者一般相談支援事業

施設や病院から退所・退院するにあたり支援が必要な障がい者への地域移行に関する相談支援（地域移行支援）や、継続した地域生活が不安定な障がい者に対し、見守りなどの連絡体制の確保など地域で密着したサポート（地域定着支援）の提供

相談・情報提供…1件〔1件〕

◇磯城郡地域自立支援協議会への参画

磯城郡における行政・障害福祉事業所・当事者団体等で構成される協議会への参画

- ・運営委員会、相談支援部会への出席
- ・加入団体数：56団体〔52団体〕

4)福祉用具貸出事業

◇福祉用具(電動ベッド、車椅子、送迎車両)貸出事業

町内在住者に対し、下記物品を貸与

- ・車椅子貸出件数…67件〔56件〕
- ・車椅子乗降対応型車両貸出件数…39件〔34件〕
- ・電動ベッド貸出件数…3件〔0件〕

◇3人乗り自転車貸出事業（町委託事業）

1歳以上小学校就学の始期に達するまでの子ども2人以上を養育する保護者に対し、3人乗り自転車を貸与

- ・新規利用者/総利用者数…8名/19名〔7名/16名〕
- ・所有台数…25台〔27台〕
- ・安全運転講習会の開催…4/22、9/28

(3) ふれあいセンターの管理運営

◇施設管理運営

- ・開館日数：248日〔206日〕
- ・利用者総数：30,773名〔21,384名〕
- ・児童館利用者数：5,073名（子ども：3,023名、大人：2,050名）〔2,866名〕
- ・一般浴場利用者数：23,295名〔17,512名〕
- ・介助浴利用者数：397名〔213名〕
- 汚損事故のため、全浴場利用を緊急休止（5/30）
- ・喫茶利用者数：2,864件〔3,132件〕
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため下記期間を休止
①5/9から6/20まで ②1/30から3/31まで

◇新型コロナウイルス感染症感染・拡大防止に関するセンターの主な取り組み

- ・館内消毒・換気の徹底
館内各所のアルコール消毒、館内換気徹底と空気清浄機設置等を行い、感染予防に努めました。
- ・周知徹底
入館時のマスク着用、手指消毒、検温の協力及びポスター設置等で注意喚起しました。
- ・浴 場
人数制限を設け、浴場前に待合を作る等、密にならない環境づくりに取り組み、併せてマスクをとる脱衣所での会話を控えていただくようご協力いただきました。
- ・児童館
子どもへの習慣づけを目的に、児童館入館の際に手洗いの慣行と併せて、正午から午後1時まで集中的な消毒、換気時間を設けました。
- ・その他
マスクのつけ忘れ等、来館者同士で声を掛け合い、互いに気を付け合う環境づくりに取り組みました。

◇ふれあいセンター事業運営委員会

新型コロナウイルス感染症感染・拡大防止のため書面決議により実施

◇ふれあいセンター管理事業

- ・ハロウィンイベント：高齢者や親子等、来館者全員が一体的に楽しめる催しとして写真撮影場所等も設置して開催（10/31、145名）
- ・歳末感謝祭：コロナ禍の中、様々な制限等にご協力いただいた感謝の気持ちを込めて、来館者全員を対象とした抽選会を実施（12/26、150名）
- ・浴 場：楽しみながら健康促進を目的にしたイベント風呂の開催（11/26、1/5、2/6、ひのき・ゆず等の入浴剤使用）
- ・各種相談事業の実施
健康相談：血圧測定や健康に関する相談を受け付けました：3,522名〔2,698名〕
児 童 館：子育て等に関する相談を随時受け付け、必要によって関係機関と情報の共有及び提供を実施しました。
そ の 他：福祉に関する相談を随時実施するとともに、センターでの過ごし方等について関係機関に情報を提供し、見守り体制の構築に寄与しました。

◇児童館事業

- ・浴場機能を活用した水遊びイベントの開催
コロナ禍でもプール遊びをしたいという保護者からのニーズを基に開催しました。
(8/13、子ども：13名、保護者：8名の8組参加)

■出張児童館の開催

児童館の構造上やコロナ禍等の制限によりセンター内では充足できない、体を動かしたい小学生等からのニーズに対し、社会福祉協議会大ホールで遊ぶ機会を設けました。
(8/21、子ども：12名、保護者：9名の9組参加)

■社協事業への参画（出張ふれあいセンター）

親子を対象とした社協事業に参画し、ハンドメイドワークショップ、交流や一息つけるカフェを開催し、ふれあいセンターの疑似体験を通じた周知活動を実施しました。

■子どもが自由な発想で絵を書けるようにホワイトボードを設置

子どもの知的、情緒的な側面の発達が促されるよう設置しました。また、保護者からの要望等も記入できるようにし、コミュニケーションツールとしても活用しました。

◇高齢者・障がい者支援の推進事業

- ・囲碁・将棋ができる場所の提供
毎週、水曜日・金曜日の午前中に大広間を開放し、ご利用いただきました。
(4月から11月まで休止し12月から実施、10名利用)
- ・障がい福祉サービス事業所の物品販売への協力
物品販売場所の提供を通じ、障がい者の社会参加の場づくりに寄与しました。
(毎週、水曜日の午後1時から午後3時)
- ・介助浴室の活用
既存の介護・障がいサービスだけでは充足できない入浴ニーズに対し、町内事業所等に介助浴室について周知し利用を促進し、地域福祉の推進に寄与しました。

◇田原本町ふれあいセンター協力会による喫茶コーナーの運営

地元婦人会で構成されるふれあいセンター協力会に協力いただき、喫茶コーナーを運営。和やかな雰囲気の中、コミュニティースペースとして機能しました。

◇来館者の方々の意見等を取り入れたセンター運営の実現に向けた取り組みについて

- ・アンケート調査の実施
ボードにシールを貼る形式で、ニーズ調査や気軽にイベントの感想をもらえる機会を随時実施しました。

◇情報の積極的な発信

■SNSの開設…センター公式LINE、公式Instagramの開設

従来の紙媒体での情報発信に加え、時代背景に沿ったSNSの活用を通じ、より多くの方へセンターの周知を図りました。

(4) 事務局運営の充実強化

1)事務局運営

◇理事会及び評議員会

- ・理事会…6/2、6/23、3/18
- ・評議員会…6/23、3/29

◇善意銀行の運営

- ・一般寄附…247,018円/29件〔260,494円/23件〕
- ・物品寄附…車椅子3台

◇社協会員及び賛助会員制度の拡充

- ・個人、団体会員…28件/315,000円〔29件/310,000円〕
- ・賛助会員…3件/15,000円〔2件/10,000円〕

◇第2期「田原本町地域福祉活動計画」策定委員会の開催…12/21

(町「地域福祉計画」策定委員会との合同開催)

2) 広報・情報提供機能

◇広報「よろこび」発刊事業

- 年3回発刊。全戸配布、及び赤い羽根共同募金協力企業等への送付
- ・発刊月…7月、10月、2月

◇ホームページの運営

社協の各種事業、共同募金運動などについて適時更新

■新 公式SNS開設と利用に関するガイドライン等の制定

公式SNSの開設・利用にあたり、情報発信の有効性の発揮と、本会及び利用者等の利益や権利を害することを未然に防ぐことを目的とした、ガイドライン等の制定

◇町広報紙、情報紙「田原本ダイスキ！」への本会に関する情報の掲載

- ・情報紙掲載月…4月、8月、12月、2月

3) 各関係機関との連携・協働の充実

- ・日本赤十字社田原本町分区に関する活動資金募集事務
- ・社会福祉実習生の受け入れ…天理大学3名

(5) 専門職の派遣による福祉施策の充実

1) 町役場への派遣

福祉関係有資格者の専門職を町行政へ派遣することにより、安定と地域に根差した福祉施策への展開及び活性化を図る

- ・長寿介護課（地域包括支援センター）への派遣者総数…9名〔9名〕
- ・健康福祉課への派遣者総数…1名〔1名〕